

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
旅行業務総合演習 General Practice of Travel Business		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	講義	選択	(国内旅行業務取扱管理者試験必修)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規、国内旅行実務 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規、国内旅行実務 I				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
下山 和生		講師室	水曜日 10時から16時（授業時間を除く）	授業中に指示します
授業の概要				
旅行業務で必要とされる契約内容の講義と演習により理解を深める。 国家試験合格を目指す。				
授業の目標				
①契約書である約款を理解し、旅行の際に知っておくべき知識を深めることができるようにする。 ②試験問題に慣れ、国家試験合格レベルへ到達できるようにする。				
授業の方法				
テーマごとに講義をしますが、演習、解説を繰り返しながら理解を深めることが主となる。				
学習の成果（学習成果）				
授業を真摯に聴講し、指示された復習をきちんと行うことにより、国家試験である「国内旅行業務取扱管理者試験」に合格することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	旅行業務の概要、国家試験の問題の特徴と対策・学習方法			
第2回目	旅行業約款（募集型企画旅行）定義、契約の締結			
第3回目	旅行業約款（募集型企画旅行）契約書面、契約変更			
第4回目	旅行業約款（募集型企画旅行）契約解除、旅程管理			
第5回目	旅行業約款（募集型企画旅行） 責任、旅程保証			
第6回目	旅行業約款（募集型企画旅行） 旅程保証、特別補償			

第7回目	旅行業約款（特別補償規程）	
第8回目	旅行業約款（受注企画旅行）	
第9回目	旅行業約款（手配旅行）	
第10回目	旅行業約款（相談）	
第11回目	国内航空約款　　航空券、拒否事項	
第12回目	国内航空約款　　手荷物、責任	
第13回目	宿泊約款	
第14回目	フェリー約款	
第15回目	貸切バス約款	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	S評価の基準：S＝90－100
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
2016年版　U－CANの国内・総合旅行業務取扱管理者　速習レッスン（ユーキャン自由国民社）		
履修上の留意点・ルール		
国家試験を目指す学生はチャレンジ精神旺盛であることを期待します。		